

令和7年2月28日

中標津町議会議員 後藤 一 男 様

中標津町議会議員 栗栖 陽 介

研 修 報 告 書

以下の視察について、次のとおり報告します。

- 1 視察名 文教厚生常任委員会道内視察
- 2 視察先 帯広市 帯広第一病院
- 3 視察日 令和7年1月27日（月）
- 4 視察事項 P N S看護方式について
- 5 成果（具体的に）

帯広第一病院は昭和49年に開設してから、町立中標津病院と同じく看護師の勤務が長く続かないという現状を打破するため、看護の質の向上を目指し2018年からP N S看護方式を取り入れました。

P N S（パートナーシップ ナーシング システム）方式とは、従来の1人が1日にやる仕事を自己完結させる仕事のやり方とは違い、新人と先輩が二人三脚での仕事のやり方です。新人が仕事に慣れてくる秋から冬にかけては『シミュレーション研修』という模擬患者を設定し、模擬看護をすることにより、新人の理解度や得意・不得意を上司も新人本人も把握し、改善するという良い結果が出ているそうです。イジメはなくなり、逆に先輩が新人に気を遣うという状況になり、新人の離職率は、ほぼ0%になったとのこと。



P N Sの説明

また、P N S方式だけではなく、14時には『リシャッフル』といって、5チーム（1チーム2人）計10人の中で遅れている仕事を分け合って、全員が17時の定時上がりをし、残業をしないという全体の仕事の効率を上げるという働き方改革を成功させていました。

『復職支援勉強会』をやることにより、中途採用の復職希望者にとって良い制度もあり、看護師数の維持が出来ているとのことでした。メリットは以上のこととなります。

『復職支援勉強会』をやることにより、中途採用の復職希望者にとって良い制度もあり、看護師数の維持が出来ているとのことでした。メリットは以上のこととなります。

デメリットとしては、看護師の人数の確保が必要になるということです。帯広第一病院

を視察してみて、町立中標津病院もPNS看護方式を導入するべきと感じました。看護師不足の状況は知ってはいますが、鶏が先か卵が先かの議論になりますので、なんとか地方創生の資金を活用した他自治体での看護師確保の事例を参考にすべきかと思いました。

4 視察事項 帯広市教育委員会 ひろびろチョイス

5 成果（具体的に）

この視察先は中標津町での不登校生の増加を懸念しての視察先になったところです。

令和5年4月から設立・開始してきた取り組みで、まず『ひろびろ』とは現実世界で、対面での自立支援を目的とし、野外活動や学習支援をする場所です。ファストフード店での職場体験・幼稚園での餅つき体験も生徒の案で実施したそうです。



ひろびろチョイスの説明

『ひろびろチョイス』は仮想空間でメタバースを利用した不登校生徒に居場所と学びの場を提供する場です。人とは会えない生徒にとって、唯一、社会とつながれる場であると感じました。不登校生の誰もが家族以外の人に会えるわけではないので、スタートとして、また、一縷の望みの糸のような場です。『ひろびろ』『ひろびろチョイス』の両方セットで効果をなすものだと理解しました。

帯広市の不登校生徒数は380名いて、利用実績としては139名でした。中には自信をつけて復帰した生徒もいるそうです。

また、生徒の保護者には定期的にメールを配信し連携を取っているそうです。

設立にあたり、メタバースの利用料60万円/年で安価で、活動委託料は200万円なので、手が届かない額ではないのかと感じました。

中標津町の教育指導センターの指導内容を充実させるためにも、本町でも導入する方向で検討するべきだと思います。

2 視察先 美幌町役場

3 視察日 令和7年1月28日（火）

4 視察事項 申込バス「もーびー」

5 成果（具体的に）

申込バス『もーびー』は、中標津町での地域交通の在り方や、利用者数の減少を懸念して視察先に選定しました。

美幌町では『もーびー』が令和4年に導入されて、基本目標としての市街地公共交通の整備及び充実、施策項目としての新しい交通システムの導入によるサービス向上は、町民周知による利用者の増加で、徐々に達成されつつあるものと感じました。

まだ利用者は当初予定の半分の利用者数でしたが、町民みずから『もーびー愛好会』を作り、周知・協力をしてきているとのことでした。

また、商店街で買い物をすることによる『スマッピーカード』のポイント取得で乗車券を購入でき、商店街でお金が回る柔軟で親切なサービスがあり、これは理想的な取り組みで、地域通貨にも似た利用方法に近い先進的な事例の一つとして感銘を受けました。

また、災害時やイベント時での利用者の希望や案もあるため、今後のサービス向上に向けて検討中とのことでした。



担当者との質疑

美幌町での取り組みは、自治体と町民の協力による、すばらしい事業形態であると感じました。中標津町でも是非、導入を検討するべきと思います。

2 視察先 網走市

3 視察日 令和7年1月29日（水）

4 視察事項 網走市立郷土博物館・モヨロ貝塚館

5 成果（具体的に）

○網走市立郷土博物館

中標津町の郷土館の老朽化が進んでいることから、網走市立郷土博物館とモヨロ貝塚館を視察先に選定しました。

郷土博物館は北海道では一番歴史のある建物ということでしたが、古い中であつてもしっかりと維持管理されていました。施設の構造的には将来的な参考となることは少なかつたですが、展示物の種類の多さや見せ方は非常に学べる部分がありました。

また、施設の増設もして、お客さんが飽きないような工夫をしていました。

○モヨロ貝塚館

モヨロ貝塚館は網走市立郷土博物館の別館となっており、2013年にリニューアルしていました。

施設は現在でも遜色ないほど先進的であり、遺跡を守りながらでありながらも効率的であり、非常に興味を引く作りでした。

また、5か国語に対応した音声ガイダンスも備えており、インバウンドに対応した施設でとても参考になりました。



モヨロ貝塚館内